

(別表第1の4)

事業所名 グループホーム 里山

目標達成計画

作成日: 平成29年1月15日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに次のステップへ向けて取り組む目標を職員一同で話し合いながら作成します。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】						
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間	目標達成状況(任意)
1	40	介護の視点から生活を重視した視点に切り替え、食事を楽しむと言う視点を持てるようにする必要がある。また、昼食後の歯磨きの支援や口腔ケアの考え方や実施についてバラつきがある。	美味しく食事をして頂くためにも、職員が食事を楽しめる雰囲気や支援が必要である。また、食後の歯磨きの支援や口腔ケアの考え方や実施を統一して行えるようにする。	職員会で、食事の場面においても利用者視点で考える機会を作り意見交換を行う。また、食後の歯磨き支援や口腔ケアについて、考え方や役割分担などの実施方法の統一を行う。	6 か月	
2	35	地震や火災における訓練は行っているが、土砂災害を含めたいろいろな場面を想定した災害訓練を地域や関係機関と連携して行う必要がある。	地域や関係機関と連携しながら、土砂災害訓練などの災害訓練を年1回以上行う。	運営推進会議を活用し、地域住民や地域の避難所や高齢福祉課や災害対策課と連携をして、場面を想定した災害訓練を行う。	6 か月	
3	10	情報提供を家族の視点で行う必要がある。また、家族の認知症サポーターの活動参加の機会が少ない。	家族の求める情報提供を行う。また、家族が行事や交流を通して認知症サポーターの活動に参加できる。	面談によりどのような情報提供を求めているか情報収集をする。また、家族が、行事や交流を通して認知症のサポーターの活動に参加できるように支援する。	6 か月	
4	11・36	職員が理念や方針をわかってはいるが、ケアや対応の場面で振り返る機会が少ない。「生活の視点」や「利用者の視点」で考える機会を作る必要がある。	年に2回以上、理念や方針を職員が振り返り、職員一人ひとりが「生活の視点」や「利用者の視点」で考えることで、日々のケアや対応に活かせることでケアの質向上に結び付ける。	人事考課や面談、職員会にて理念や方針について振り返る機会や話し合いを行い、日々のケアを振り返ってもらう。	6 か月	
5					か月	

注1) 項目の欄については、自己評価項目の を記入して下さい。

注2) 項目数やセルの幅が足りない場合は、行を挿入してください。

注3) 外部評価結果の通知を受けた日から概ね30日以内に評価機関に報告してください。

注4) 目標達成状況は任意となっております。期限に定めはありませんので、適宜評価機関に報告してください。

サービス評価の実施と活用状況表

事業所のサービス評価の実施と活用状況について振り返ります。「目標達成計画」を作成した時点で記入します。

【サービス評価の実施と活かし方についての振り返り】		取 り 組 ん だ 内 容	
実施段階		(該当するものすべてに 印)	
1	サービス評価の事前準備	<input type="checkbox"/>	運営者、管理者、職員でサービス評価の意義について話し合った
		<input type="checkbox"/>	利用者へサービス評価について説明した
		<input type="checkbox"/>	利用者家族へサービス評価や家族アンケートのねらいを説明し、協力をお願いした
		<input type="checkbox"/>	運営推進会議でサービス評価の説明とともに、どのように評価機関を選択したか、について報告した
		<input type="checkbox"/>	その他()
2	自己評価の実施	<input type="checkbox"/>	自己評価を職員全員が実施した
		<input type="checkbox"/>	前回のサービス評価で掲げた目標の達成状況について、職員全員で話し合った
		<input type="checkbox"/>	自己評価結果をもとに職員全員で事業所の現状と次のステップに向けた具体的な目標について話し合った
		<input type="checkbox"/>	評価項目を通じて自分たちのめざす良質なケアサービスについて話し合い、意識統一を図った
		<input type="checkbox"/>	その他()
3	外部評価(訪問調査当日)	<input type="checkbox"/>	普段の現場の具体を見てもらったり、ヒアリングで日頃の実践内容を聞いてもらった
		<input type="checkbox"/>	評価項目のねらいを踏まえて、評価調査員と率直に意見交換ができた
		<input type="checkbox"/>	対話から、事業所の努力・工夫しているところを確認したり、次のステップに向けた努力目標等の気づきを得た
		<input type="checkbox"/>	その他()
4	評価結果(自己評価、外部評価)の公開	<input type="checkbox"/>	運営者、職員全員で外部評価の結果について話し合った
		<input type="checkbox"/>	利用者家族に評価結果を報告し、その内容について話し合った
		<input type="checkbox"/>	評価機関へ評価結果を提出し、現場の状況を話し合った
		<input type="checkbox"/>	運営推進会議で評価結果を報告し、その内容について話し合った
		<input type="checkbox"/>	その他()
5	サービス評価の活用	<input type="checkbox"/>	職員全員で次のステップに向けた目標を話し合い、「目標達成計画」を作成した
		<input type="checkbox"/>	「目標達成計画」を利用者、利用者家族や運営推進会議で説明し、協力やモニター依頼した(する)
		<input type="checkbox"/>	「目標達成計画」を評価機関へ説明し、提出した(する)
		<input type="checkbox"/>	「目標達成計画」に則り、目標達成に向けて取り組んだ(取り組む)
		<input type="checkbox"/>	その他()